

平成28年度 施策評価シート

基本目標	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110 歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する
施策	112 郷土の伝統文化や文化財を大切に、将来に継承する
施策の目標	「すみだ」の伝統ある文化を区民が将来に継承し、さらに発展させ、文化財を大切に保護しています。

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合	%	65.00					65.70
「墨田区の歴史や文化をもっと学びたい」と思う区民の割合	%	78.00					70.00

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
活用事業(候補)者の数	社		1	1	1	1
両国公会堂メモリアルイベント延べ参加者数	人					166

3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述

指標1については、両国公会堂跡地の活用事業者として、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が決定し「刀剣博物館」が29年度開設されることとなったことから、目標は達成した。指標2については、両国公会堂の歴史的意義についての訴求と区民への文化的価値の継承に一定の成果があったと評価する。

今後、江戸東京博物館、すみだ北斎美術館との相乗効果により、旧安田庭園の利用者を増加させ、両国・亀沢地域の歴史文化の認知度を高める必要がある。さらに、日本文化の保護、継承を図りつつ、その意義を理解、普及する区民を増やすことが課題である。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性(選択肢に を付ける)

- (1) 優先的に資源投入を図る。
- (2) 現状維持とする。
- (3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
- (4) 資源投入の縮小を図る。

【上記の判断理由】

両国公会堂メモリアルイベントは完結したが、今後も、関連部署において施策目標の達成を図っていく。

【今後の具体的な方針】

同上

5 部内各課で実施しているこの施策に係る事務事業

(単位：千円)

番号	事務事業名	課名	27年度	事務事業評価 シートの評価結果	部長コメント
			歳出決算額		
1	両国公会堂メモリアルイベント事業	政策担当	842	廃止	事業目的を達成したため廃止する。

【評価結果】

拡充：効果が高く、拡充による更なる効果拡大も期待できる。

現状維持：効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。

改善・見直し：手段の見直しで効果を拡大する必要がある。

縮小・統合：効果は高くないが、継続する理由がある。

休止、廃止：効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。

事務事業名	両国公会堂メモリアルイベント事業		所管課・係	政策担当
施策	112	郷土の伝統文化や文化財を大切に、将来に継承する	連絡先	5608-6231
予算書名称	両国公会堂メモリアルイベント実施経費		執行実績報告書ページ	19

1 事業の概要

両国公会堂の解体工事を行うに当たり、両国公会堂の姿を地域の記憶として継承していくため、「両国公会堂メモリアルイベント」を開催した。	事業開始年度	平成27年度
	終了予定年度	平成27年度

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか						
両国公会堂に関心を持っている区民等					に対して	
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)						
企画展示(両国公会堂の歴史についてのパネル展示)、両国周辺の歴史的建造物めぐり、シンポジウムで構成される「両国公会堂メモリアルイベント」					を実施したことで	
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか						
将来にわたり、両国公会堂が地域の記憶として継承された					状態にする。	
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	当該イベントで実施した事業数	事業	目標値			3
			実績値			3
成果指標 (目的に対する指標)	当該イベントの延べ参加者数 企画展示は、アンケート回答者数を参加者として計算した。	人	目標値			150
			実績値			166
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
当該イベントにおける事業数を活動指標とした。また、目的に掲げた「地域の記憶の継承」は数値で表すことが困難であるが、当該イベントへの参加が目的を達成するための一助になるものと捉え、参加者数を成果指標とした。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画調整費	
27年度歳出予算額	961	27年度歳出決算額	842	27年度執行率	87.6%	28年度歳出予算額	0
27財源内訳(決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 無	一般財源 有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	0
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度実績額		28年度予算額		対象			
開始年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価
<p>区民等が公会堂の歴史に触れ、思い出等を語ることができる場の創出は、多方面から求められており、事業の必要性は高いといえる。</p>			
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価
<p>「記憶の継承」は数値で表すことが困難で、事業の有効性の判断について明確な基準を示すことができないが、当該イベントには150人を超える参加者があり、目的を達成するための一助となり得るものといえるから、「どちらかといえば有効」とした。</p>			
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価
<p>特性上、多くの参加者に対応できない事業もあったが、シンポジウム等は、多くの来場者に対して両国公会堂の魅力を伝えるものであり、当該イベント全体を通して「どちらかといえば効率的」とした。</p>			
(4)現状と課題	<p>日本美術刀剣保存協会(両国公会堂跡地に誘致する刀剣博物館の設置主体)等の協議等を行いながら、両国公会堂の記憶を継承できる仕組みを構築する必要がある。</p>		

5 総合評価(課長評価)

評価結果	廃止	判定理由	当初から単年度事業として実施したものであり、所期の目的を達成した。
今後の方向性 (見直しの視点)	刀剣博物館内に両国公会堂の記憶を継承するスペースを確保できるよう、日本美術刀剣保存協会と協議を進める。		
平成27年度区 議会の質問状 況	時期	無	
	要旨	無	